

2021年11月1日
株式会社 電通グループ
代表取締役社長執行役員 山本 敏博
(東証第1部 証券コード:4324)

電通グループの海外事業の Global Chief Creative Officer に カンヌライオンズで13のグランプリを獲得したフレッド・レブロンが就任

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博）は、当社連結子会社で海外事業を統括する電通インターナショナル社（Dentsu International Limited）の Global Chief Creative Officer（グローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサー、以下 Global CCO）に、本日付で Fred Levron（フレッド・レブロン）が就任したことをお知らせします。

フレッドは、本日から電通インターナショナルにおいて、クリエイティブの分野を包括的に統括するとともに、電通インターナショナル傘下で世界トップ100の広告主の95社を顧客に持つ、世界のグループ内クリエイティブエージェンシーを統率します。具体的には、電通インターナショナルが世界で最も統合された広告エージェンシーとなるために、海外事業の全てのクリエイティブ・制作物や、電通インターナショナルの3つのサービスライン（クリエイティブ、メディア、CXM（顧客体験マネジメント））を跨ぐクリエイティビティの強化を主導します。

フレッドは20年以上のキャリアにおいて、世界最大のクリエイティブの祭典である「カンヌライオンズ^{*1}」では13のグランプリと46のゴールドを含む200近くの賞を獲得し、「D&AD賞^{*2}」においては3つのブラックペンシルズを獲得するなど、累計2,000以上の世界的な賞を受賞し、世界の広告業界のクリエイティブを牽引してきました。直近では、Drum誌が選ぶ2020年のGlobal Chief Creative Officerランキングと、世界的なクリエイティブアワードを主催するThe One Clubの2020年・2021年Global Chief Creative Officerランキングにおいて1位を受賞しています。



フレッドは、電通グループへの参画直前まで、インターパブリックグループ傘下のFCBにてWorldwide Creative Partnerとして、クリエイティブの改革を牽引し、2020年と2021年のカンヌライオンズでは同社に「ネットワーク・オブ・ザ・イヤー」をもたらしました。FCBの前職は、4度のエミー賞に輝いたロサンゼルスエンターテインメントエージェンシーであるCAA Marketingで、クリエイティブの幹部として多くの実績を挙げました。また、それ以前の10年間は、Ogilvy Parisで、多数のポジションを経験しています。

電通グループは、フレッドの参画により、海外事業におけるクリエイティビティの強みをさらに洗練させ、全世界で提供する「Integrated Growth Solutions（インテグレートッド・グロース・ソリューション）」の価値および競争力の一層の向上を実現していきます。

※1：カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル（Cannes Lions International Festival of Creativity）は、規模の大きさ、審査員構成、入賞作品のレベルの高さなどから、数ある国際広告賞の中でも特に高い評価を得ている。

※2：D&AD 賞は、英国に本部を置く非営利団体「D&AD（British Design & Art Direction）」が1962年に創設。その審査基準の高さから、「世界で最も受賞が困難なデザイン・広告賞」と評されている。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス

TEL：03-6217-6601 E-mail：group-cc@dentsu-group.com

株式会社電通グループでは、新型コロナウイルス対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。